

COVID-19 パンデミックが消化器領域癌手術に与えた影響 –施設間格差の検討–

1. 研究の対象

2018年1月～2023年12月に食道切除術、低位前方切除術、幽門側胃切除術、肝切除術を受けた18歳以上の方

2. 研究目的・方法

本研究はNational Clinical Database (NCD) のデータを用いて、消化器外科手術後の合併症率の推移を中心に COVID-19 拡大の影響を体系的に把握することを主な目的としています。特に本研究では異なる特徴を有する施設において、どのような影響があったかを明らかにすることを目的としています。

COVID-19 の拡大が認められた2020年4月前後で消化器外科診療にどのような変化が起こったのかを明らかにすることが、将来においても起こり得る新興感染症に対する対応の一助となると期待されています。研究実施期間は、倫理申請の承認を受けてから2024年12月31日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

一般社団法人 National Clinical Database (NCD) 疾患登録情報（手術日、性別、年齢、疾患名、術式、登録された血液検査値などを含みます。）

4. 外部への試料・情報の提供

データはNCD解析グループが管理、解析を行います。データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

5. 研究組織

研究代表

高知大学医学部外科	前田広道
熊本大学小児外科/移植外科	日比 泰造
東京大学大学院医学系研究科	山本 博之
慶應義塾大学医学部	清島 亮

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、

研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究内容の照会先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 高知大学医学部外科学講座外科 前田広道

電話：088-8802370

研究責任者：高知大学医学部外科 前田広道

研究代表者：上記